

教科用図書調査に関する報告書

| | |
|----|----|
| 教科 | 算数 |
|----|----|

| 発行者 略称 | 発行者 番号 | 教科書の 記号・番号 | 教科書名 | 調査結果の概要 |
|-----------|-----------|--|---|---|
| 東書 | 2 | 算数 112 113 212 213 312 313 412 413 512 513 612 | 新編 あたらしいさんすう 1① はじめよう!さんすう 新編 あたらしいさんすう 1② みつげよう!さんすう 新編 新しい算数 2上 2下 考えるって おもしろい! 新編 新しい算数 3上 3下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 4上 4下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 5上 5下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 6 数学へジャンプ! | <ul style="list-style-type: none"> ・説明する問いや比較して考える問いが多く、思考力が育ちやすい。 ・1年生用以外は、ほとんどのページに二次元コードがついている。 ・著名人の算数への思いが紹介されており、算数に興味をもてる。 ・「説明しましょう。」には、問いが多く、思考力を伸ばす工夫がある。 ・5年生から上・下巻の分冊になっているが、下巻にはノートの使用方等の記載がない。 |
| 大日本 | 4 | 算数 114 115 214 314 414 514 614 | 新版 たのしいさんすう 1ねん① 1ねん② 新版 たのしい算数 2年 3年 4年 5年 6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの位置がページ番号横に統一されていて使いやすい。 ・数学的思考を生活と結び付けさせる工夫がされている。 ・2年生以上の教科書が1冊にまとめられており、児童にとって重く、持ち運びが大変である。 ・字が大きくて太いが、文字が多いページがある。 ・写真よりイラストの方がやや多い。 |
| 学図 | 11 | 算数 116 117 216 217 316 317 416 417 516 517 616 617 | みんなとまなぶ しょうがっこうさんすう 1ねん上 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下 3年上 3年下 4年上 4年下 5年上 5年下 6年 6年 中学校へのかけ橋 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な考え方がキャラクター化されており、親しみやすい。 ・単元は、漫画で課題を提示して導入する流れがよい。 ・学び合う学習活動がやや少ない。 ・AB版は大きく、ノートやタブレットとの同時に使用することが難しい。 ・6年生の別冊は、中学校に向けての復習にはよいが、授業で使用するには時間的に難しい。 |

| 発行者略称 | 発行者番号 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | 調査結果の概要 |
|-------|-------|---|--|---|
| 教出 | 17 | 算数 118 218 219 318 319 418 419 518 618 | しょうがくさんすう1 小学算数2上・2下 3上・3下 4上・4下 5 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学んだことを使おう」で、学習したことを生活の場面で実践するように設定されているのがよい。 ・5年生の「割合」では、「基準量」「比かく量」という言葉を使用しており、わかりづらい。 ・巻末の付録が少なく、授業では活用しづらい。 ・グラフの方眼が小さくて見にくい。 ・定義やまとめが書いてある部分は、見やすい。 |
| 啓林館 | 61 | 算数 120 121 220 221 320 321 420 421 520 620 | わくわくさんすう1 すたあとぶっく わくわくさんすう1 わくわく算数2上・2下 算数3上・3下 算数4上・4下 算数5 算数6 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツが豊富で、二次元コードに見出しがあり、扱いやすい。 ・各時間の「めあて」や「まとめ」が明確に示されている。 ・登場人物のつぶやきが「…」で終わるため、思考を深めるきっかけになる。 ・「生きる力」として、系統的に「見積る力・判断する力」の育成を図ることができる。 ・巻頭に「ノートのつくり方」等がわかりやすく示してある。 |
| 日文 | 116 | 算数 122 123 222 223 322 323 422 423 522 622 | しょうがくさんすう1① さんすう1② 小学算数2年上・2年下 3年上・3年下 4年上・4年下 5年 6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・学び方の4ステップが示され、学習の見通しが立てやすい。 ・「めあて」と「まとめ」が明記されている。 ・「算数マイトライ」や6年生の「マテマランド」は、クイズやパズル等の要素が取り入れられており、楽しみながら学習を進めることができる。 ・線が太くはっきりしている。 ・発展学習が多く取り扱われているが、やや学習量が多い。 |